

2026年3月期
第3四半期 決算説明資料

ジオマテック株式会社
create coating solutions

2026年2月6日

第3四半期 業績

単位：百万円	2025.12	2024.12	前年同期比	
	(3Q-FY26)	(3Q-FY25)	増減	増減率
売上高	4,345	3,674	671	18.3%
営業利益	291	285	6	2.2%
(営業利益率)	6.7%	7.8%	-	-
経常利益	356	337	19	5.7%
四半期純利益	369	342	27	7.8%
1株あたり 四半期純利益(円)	46.72	43.33	3.39	7.8%
加工高	3,228	3,195	33	1.0%

※加工高とは、売上高から基板材料費と外注加工費を差し引いた、成膜分の売上（付加価値収入）のことです。
尚、加工高は、当社の管理数値として使用しているもので会計数字とは必ずしも一致しません。

- ◆ 売上高は前年同期比で増加
カバーパネル用反射防止・防汚膜（ディスプレイ）、監視カメラ、産業用プリンターヘッド向けなど電子部品（半導体・電子部品）、成膜加工関連部材（その他）の売上高が増加。
- ◆ 営業利益、経常利益、四半期純利益は前年同期比で増加
売上高増加と生産性向上により営業利益は増益、加えて、円安進行に伴う為替差益を計上。

財務概要

単位：百万円	2025.12	2025.3	増減
流動資産	9,579	10,744	△ 1,164
現金・預金	3,964	3,029	935
受取手形・売掛金	2,878	4,551	△ 1,673
電子記録債権	485	613	△ 128
棚卸資産	2,156	2,466	△ 309
その他	94	83	10
固定資産	5,315	5,614	△ 298
有形固定資産	2,628	1,968	659
無形固定資産	160	155	4
投資その他	2,526	3,489	△ 963
合計	14,894	16,358	△ 1,463

単位：百万円	2025.12	2025.3	増減
負債	5,229	7,253	△ 2,024
支払手形・買掛金	2,455	4,252	△ 1,797
借入金等	1,962	2,030	△ 68
その他	812	971	△ 158
			0
			0
純資産	9,665	9,104	561
株主資本	9,026	8,657	369
評価・換算差額等	638	447	191
			0
合計	14,894	16,358	△ 1,463
自己資本比率	64.9%	55.7%	9.2pt
1 株あたり純資産(円)	1,221.89	1,150.97	70.92

◆ 資産合計 1,463百万円減少

主な増加要因： 現金及び預金（935百万円）

主な減少要因： 受取手形及び売掛金（1,673百万円）、投資有価証券（748百万円）

◆ 負債合計 2,024百万円減少

主な増加要因： -

主な減少要因： 支払手形及び買掛金（1,797百万円）、未払金（133百万円）

◆ 純資産合計 561百万円増加

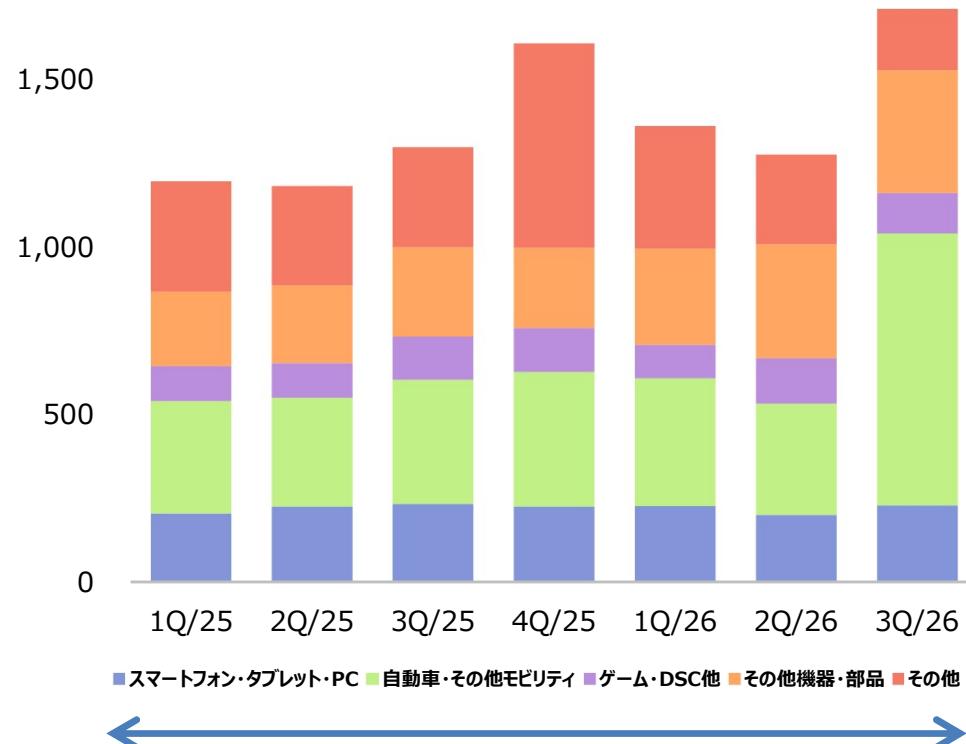
主な増加要因： 利益剰余金（369百万円）、その他有価証券評価差額金（191百万円）

主な減少要因： -

四半期売上実績

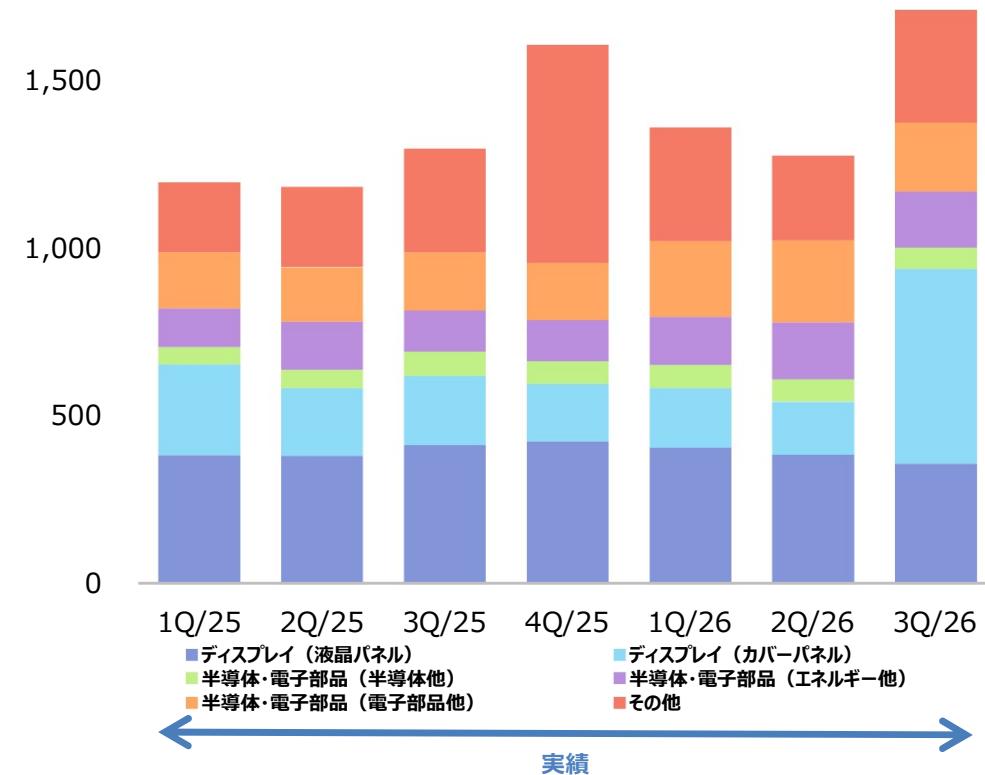
百万円

最終製品別売上高推移



百万円

品目別売上高推移



◆ディスプレイ（液晶パネル）

車載向け液晶ディスプレイ用帯電防止膜は受注が減少

◆半導体・電子部品

- テストウェハー向けを中心に安定的に推移
- 監視カメラ向けおよび産業用プリンタヘッド向けなどの用途拡大が期待される分野での受注も引き続き堅調に推移

◆ディスプレイ（カバーパネル）

カバーパネル用反射防止・防汚膜は受注が増加

◆その他

- g.moth®やg.slip®などのナノ構造体製品および、テスト基板の受注が安定的に推移
- 成膜加工関連部材の販売も大幅に増加

2026年3月期 業績見通し

単位：百万円	2026.3				2025.3	
	通期計画	H1 実績	H2 計画	前期比		実績
				増減額	増減率	
売上高	5,100	2,634	2,466	▲ 180	▲ 3.4%	5,280
営業利益	300	269	31	▲ 23	▲ 7.3%	323
(営業利益率)	5.9%	10.2%	1.3%	—	▲ 0.2pt	6.1%
経常利益	350	301	49	▲ 16	▲ 4.4%	366
純利益	330	288	42	▲ 30	▲ 8.4%	360

加工高	4,080	2,190	1,890	▲ 144	▲ 3.4%	4,224
研究開発費	300	105	195	▲ 18	▲ 5.7%	318
設備投資額	1,000	371	629	277	38.3%	723
減価償却費	210	85	125	65	44.8%	145

経営環境

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得の改善を背景に緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、長期化する不安定な世界情勢、米国通商政策の不確実性や物価上昇の継続による消費マインドの低下など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社を取り巻く事業環境は、ディスプレイ品目は厳しい状況が継続していますが、半導体・電子部品、その他の品目では堅実に推移いたしました。

対処すべき課題

このような経営環境の下、当社はこれまでマーケットインとプロダクトアウトの戦略に基づき、「薄膜技術」を強化し成長を図ってまいりましたが、今後はこの経営志向をさらに発展させ、従来の薄膜技術に加え、顧客ニーズに応じた生産技術の強化と経営資源の最大活用によって顧客の利便性および当社の収益性の向上を目指す「薄膜技術+生産技術」という当社の強みを活かし企業成長に取り組んでまいります。当社が現在認識している課題と対策は以下の通りです。

1. コア事業の強化

当社の主力製品であるディスプレイなどの薄膜加工製品については、既存設備を有効に活用するとともに、原価低減と価格戦略の見直しを進めることで、収益性および資産効率の改善を図っております。

2. 戦略事業、新規事業の強化

成長が期待される製品・市場に向けて、これまで培ってきた薄膜技術および生産技術を活かし、顧客に対して高い利便性を提供することで事業の拡大と収益性の向上に取り組んでおります。

3. 人的資本の強化

教育制度および評価制度の整備を進め、あるべき姿の実現に向けた人材の確保と組織能力の向上に取り組んでおります。
また、社員がいきいきと活躍できる職場環境の整備を目指し、企業風土改革にも継続して取り組んでおります。

4. 経営基盤の強化

経営の高度化を実現するため、デジタル基盤の強化を進めております。
あわせて、財務基盤の安定と資本効率の向上を図りつつ、成長領域への戦略的投資を推進しております。

・情報提供の目的

当サイトの目的は、当社への理解を深めていただくことを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。掲載されている情報は、インターネット上で簡便にご参照いただくために作成されたものです。当社は細心の注意を払っておりますが、掲載されている情報には不測の誤りがある可能性があります。当サイトのご利用により、被害・損害が発生したとしても、当社は一切責任を負うものでないことをあらかじめご了承ください。

・将来予測に関する考え方

当サイトに掲載されている情報には、当社の計画、予測など将来の見通しに関する記述が含まれています。これらは、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断および仮定に基づくものであり、既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、当社の業績、事業活動、財務状況は、見通しと大きく異なる場合があります。

・投資判断に対する考え方

投資に関する最終的なご決定は、当サイトの情報に全面的に依存することはお控え頂き、ご自身の判断と責任において行われますようお願いいたします。

・情報内容変更等の可能性

当サイトまたは当サイト上のコンテンツは、予告なく変更、修正、削除、中断することがあります。当社は、サイトに掲載された情報を更新する義務を負うものではなく、その約束をするものではありません。当サイトのいかなる情報についても、常に最新情報に反映されるものでないことをご了承ください。